

島根県益田市



高津川に架かる飯田吊橋

高津川は、清流として知られており、水質日本一に何度も輝いたことのある地域の誇りです。その高津川には2つの赤い吊橋が架かっており、清流の青と吊橋の赤のコントラストが美しい景観を生み出し、訪れた方を魅了しています。

吊橋の1つ「飯田吊橋」には、心をくすぐる小さなハートが隠れています。

益田市は、島根県西端にあって山口県と接しており、北は日本海を臨み、南は中国山地の山々を挟んで広島県に接しています。平成16年11月に、益田市・美都町・匹見町の1市2町が合併し、県内最大の面積を有する市となりました。

益田市の景観は、豊かな森林や起伏に富んだ海岸線、中国山地に源を発する一級河川高津川などの自然的要素から成る風景、日本の原風景を連想させる農村の風景や、漁師まちの特色を残す漁村の風景、石見地方特有の赤

瓦屋根のまち並みや、風情ある黒瓦屋根の歴史的なまち並みに加え、新しい市街地などの都市・商業的要素という複数の要素により構成されています。

また、伝統芸能や伝統行事などの「長い時をかけて醸成された文化の景観」も、一朝一夕で形成することができない市の財産として、守り伝えるべきものです。

ますだ暮らしキャラクター
ゆずりん、わさまる、ぐりお



金谷城山桜

樹齢は500年以上、樹高15m、根回りが7m以上のエドヒガン桜で、島根県の指定文化財・天然記念物に指定されています。地域ぐるみで桜や棚田、食を守る「金谷自治会」の活動は「第2回益田市まちづくり景観賞」グランプリ受賞。



金谷城山桜

匹見峡



匹見峡

匹見峡は、西中国山地国定公園に属しており、前匹見峡、表匹見峡、裏匹見峡、奥匹見峡の全体を総称して「匹見峡」と呼ばれています。

中国山地に水源を発する匹見川が形成する切り立った岩や深い淵などの渓谷美や、新緑・紅葉も楽しむことができます。

赤瓦



衣毘須神社



グラントワ



唐音水仙公園



石見神楽

